

「医学統計」終了の一句（川柳）

秋田大学医学部2年生選択科目「医学統計」

2018/12/03～07

1. 気が付くと 脱水症状 動けない

集中して朝から夕方までずっと椅子に座りパソコンに向かっていたので毎日軽い脱水に陥った。こまめに水分を取ろうと努力したが、いったん集中が途切れると何をしていたかわからなくなるかもしれない不安と、一度面白いと感じるとやめられなくなってしまうことで、ふらふらしたまま最終日を迎えた。統計は勿論難しかったが、何より言葉の使い方に苦戦した一週間だった。

2. 好きだった パソコン嫌いに なりました

統計学は以外にも医師にとって非常に重要だと聞いたことがあるので、今回の講義は真剣に臨もうと考えていた。しかし、内容の理解はできるもののレポートに記すのがとても難しかった。細かい前知識が全くなかったのでかなり辛かった。とにかく一週間ずっと辛かった。先輩たちの感想文を見て、自分と同じく苦労したような感想が書かれているのを見て、この講座は全く良くはないことがわかりました。村田先生、前田先生、岩田先生、一週間有難うございました。

3. 帰れない 要点つかむ 難しさ

先生方がどんなに一生懸命教えて下さっても、何が大切なのか、自分のレポートの何がそんなにいけないのかなかなか理解できず、結局最終日は夜の8時を過ぎてしまいました。遅くまで残らせてしまった先生方、申し訳ありませんでした。有難うございました。場合によっては、その道を極めていらっしゃる先生よりも、同じ0からスタートした友人に教わった方が分かりやすいこともあり、「分からない」が分かるというのは人に教える上でとても大切なのだと知りました。これから先、医師となり患者さんと関わっていく中で、患者さんが理解できるまで根気良く、相手の立場に立って説明できるよう、精進したいと思います。

統計に関しては、理系のくせに数字に弱いので、理解したとは言い難いのですが、小数点以下2桁の違いで世界中を納得させる分析が展開されるというのは、面白い話だなあと思いました。昔見ていた数学科の女の子が主人公のドラマでも、「この数字を境に偶然なのか作為的に起こされた事件なのか分かる」というような場面があって、その小さな違いで何が変わるのだろうかと思いましたが、きっと彼女は今回私が習ったようなことを駆使していたのだろうなと思いました。数年越しに何となく納得できて良かったです。何となくですが、有難うございました。

4. 「有意に」を 忘れて今日も 帰れない

私はもともと統計が苦手で、今までの人生ではするっと逃げてきました。しかし今回この講座を受け

るにあたって5日間みっちり統計漬けになり、自分の無力さを感じました。私は要領が悪く、毎日一番遅くまで残って課題をこなし、辛くて医師である親に愚痴を零しました。しかし親は、統計は学生よりも働き出してからたくさん使うから、今は辛くても絶対将来の役に立つから頑張ると言われました。とても辛かったですが、講座を受ける前よりも明らかに成長を感じるとともに、アカデミックで客観的な物事のコエ方を習得することができたと思います。短い間でしたがとても勉強になりました。今回学んだことは決して忘れずに、将来医師になるために日々努力していきたいと思っています。

5. 5時終わり 名ばかり実は 7時まで

1年生の時に応用統計で教わった内容を実践でき、また、内容をより深く理解できた。これから先、医療者として、様々な論文並びにデータを目にし、また自身でも書くこともあると思うが、今回の経験を生かして、読み取りの上では正確に、書く立場としては正しい統計法を使えるようにしたい。とても辛く、長く、悩抽選時の自分の運を恨む1週間ではあったが、達成感はこの講座よりは大いにあったと思う。今後活かされることを願いたい。有難うございました。

6. もう勘弁 しばらくパソコン みたくない

この一週間で新鮮な日々を過ごしました。1年生のころに統計の学習をないがしろにしていたつけがいつぱんにきた気分でした。これからは今回学んだ経験を活かしてこれからの学習に励んでいきたいと思っています。お疲れ様でした。

7. 先生よ はやく添削 来てください（ノド）

医学統計の演習を終えて、統計の基本的なやり方が身についたと思う。授業で習った中で特に重要だと感じたのは「差」についての検定なのか「関連性」についての検定なのかどうか見分けることである。また、今回の実習で様々な検定方法の使う場面や使い方について理解することができた。しかし、プリントを見ながらでないとなどの検定方法を使えば良いのか判断できなかった。これから様々な問題を解いたり実際に研究を行うことで検定を使うことで、統計力を高めたいと感じた。先生方、手厚いご指導有難うございました。

8. 疲れたよ ブルーライトで 目がやられ

授業中ずっとパソコンとにらめっこ、放課後も部活の仕事で遅くまでパソコンで作業し、もう目が疲れてしまいました。最近はずっとコンタクトですが、眼鏡で過ごした1週間でした。今も目がかすんでつらいです。週末は目をいっぱい労わってあげたいです。

以下、まじめに感想を書きます。統計は1年生の一般教養以来で難しかったけれど、将来、興味がある分野で自分で調査した結果を統計的に解析してみたいと思いました。様々な統計方法があり、どれを使うかによって有意な結果を得られるかどうか異なりうることを学べて良かったです。少しだけ統計の面白さを感じましたが、それより1週間が終わった達成感、開放感でいっぱいです。

9. 再チェック 再々チェック 帰宅5時

この講座にはクジで外れて来ることになったのだが、終わってみて、来て良かったと思う。データ

の打ち込みや、一年次に学習したものの殆ど忘れていた統計学についての学習は大変だったが、そこそこ楽しめたし、何より、全て終わった時の充実感、達成感はとてつもなく大きかった。正直、まだ理解しきれていない部分もあるため、3年次に向けて少し復習したいと思う。

10. 先生も チェックするのが 大変そう

減らしてもいいんですよ。

11. 確認が 終わらないから 帰れない

初日から村田先生より覚悟を持ってやるように言われたが、ここまで大変になるとは思っていなかった。1週間講義を受け、実践的にやってきたが、未だに統計の使い分けについて、理解しきれていないところがあり、統計の難しさを痛感した。難しいけれども、今後、自分で論文を作成する際にも、人の論文を読み解くためにも、今よりもっと統計の知識は必要になっていくと思う。これから先は、今回のように統計に触れる機会は減ると思うので、この知識を忘れないようにしたい。また、1週間酷使した、目と頭と指先を休めようと思う。加えて、知識内容とはあまり関係ないが、できることならばもう少し演習の確認作業を効率的に行えるような工夫をしても良かったのではと思う。

12. 帰りたい ただひたすらに 帰りたい

何時間もパソコンの画面を見続けて、目に悪影響を与えてしまった一週間でした。ブルーライトカットメガネの大切さを感じます。そんな環境の中で数々の難題を乗り越えたその先には、達成感はありませんが、何よりも一番大きいのは家に帰れるという嬉しさです。家を前よりも好きになれました。良かったです。あと色々な統計の仕方を学びました。良かったです。有難うございました。

13. 耐えること 耐え忍ぶこと 耐えること

たくさんの数字を打つのにはもう疲れました。でも、今思えば充実していました。有難うございました。

14. 数字から 世の中を見る 統計学

統計の勉強は難しかったです、ただの数値データから集団の傾向、実態を考えるのは面白かったです。数値データを見た感じでは差があるように思えたものが、分析するとそうでもないこともよくあり、驚きました。ただ、データの打ち込みはとても大変でした。今回のアドバンスを選択しなければ、統計がよくわからないまま卒業していたかもしれないと思うと、大変だったけれど履修して良かったです。

15. 難しい 三度聞かねば わからない

統計は奥が深く一度聞いただけでは使えるようになりませんでした。もう少しちゃんと勉強しようと思います。一日中飲み物も飲まず、初めて扱う統計ソフトと格闘し、とにかく必死な一週間でした。。付き合ってくれた先生方も有難うございました。来年以降、先生を増やしていただくか、受講人数を減らして頂けると後輩は有難く思うと思います。